

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 第2委員会室
			担当職員 佐藤
日 時	令和3年9月17日(金曜日)	開 議	午前 10時 00 分
		閉 議	午後 2時 14 分
出席委員	◎赤坂、○奥野、田中、小川、藤本、木曾、菱田		
出席理事者	【産業観光部】由良部長 [商工観光課]三宅課長、元古副課長、橋本主幹、松浦観光振興係長 【上下水道部】西田部長 [総務・経営課]木村課長、人見副課長、服部下水道経営係長 [お客様サービス課]野々村課長 [水道課]吉村課長 [下水道課]川勝課長、清水年谷浄化センター所長		
出席事務局	佐藤主任		
傍聴者	市民0名	報道関係者0名	議員0名

会 議 の 概 要

10 : 00

- 1 開議 (委員長あいさつ)
- 2 事務局日程説明
- 3 付託議案審査 (説明～質疑)

[上下水道部入室]

・上下水道部長あいさつ

◎第18号議案 令和2年度亀岡市水道事業会計決算認定

[説明]

・上下水道部所管課長順次説明 (歳出歳入一括)

10 : 42

《質疑》

＜赤坂委員長＞

毎回思うが、経費に係る詳細な内訳を前もって出してもらえないか。

＜上下水道部長＞

以前から、このような内容で決算書はつくっているが、事前に資料を出すことはできるので、事務局と協議する。

＜赤坂委員長＞

事前に調べたいこともあるので、資料を出していただければ、スムーズにできると思うのでよろしくお願いします。

＜田中委員＞

24・25ページ、資本的支出に係る契約の中の南つつじヶ丘ポンプ等更新工事と犬甘野加圧ポンプ更新工事の事業所がテラル株式会社大阪支店になっているが、ここでないといけないのか。また、それぞれ何社指名して、この結果になったのか。

＜水道課長＞

南つつじヶ丘のポンプ等更新工事については、指名競争入札で行っており、事業数については後ほど報告する。犬甘野加圧ポンプ更新工事については、指名6社で実施した。

＜田中委員＞

この会社はポンプのメーカーなのか。

＜水道課長＞

水道のポンプメーカーである。

＜田中委員＞

この2件の落札率は。

＜水道課長＞

南つつじヶ丘の落札率が95.5%、犬甘野の落札率が99.3%である。

＜田中委員＞

犬甘野の落札率が100%に近いのは異常であると思う。

＜水道課長＞

入札状況を後ほど報告する。

＜木曾委員＞

全ての契約について、指名競争入札であったのか、また、何社入ったのか、入札率を含めて一覧になった資料を提出いただきたい。

＜水道課長＞

提出する。

10 : 47

◎第55号議案 令和2年度亀岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

〔説明〕

・総務・経営課長説明

10 : 49

《質疑なし》

◎第19号議案 令和2年度亀岡市下水道事業会計決算認定

〔説明〕

・上下水道部所管課長順次説明（歳出歳入一括）

11 : 23

《質疑》

＜奥野副委員長＞

7 ページ、営業外収益の他会計補助金は、どこからどのような形で入ってくる補助金なのか。

＜総務・経営課長＞

年谷浄化センター等の建設事業費や管路の敷設事業費に対して、企業債の借入れを行っており、地方財政措置として交付税措置が取られている部分に関して、一旦、交付税として一般会計に入っている補助金を一般会計から受け入れているものである。

＜奥野副委員長＞

国からの補助金なのか。

＜総務・経営課長＞

地方交付税として、一般会計が受け入れているものの中から、公営企業会計に繰り出している。

＜木曾委員＞

水道と同様に、下水道についても契約関係の詳細な資料をいただきたい。

＜下水道課長＞

提出する。

＜木曾委員＞

契約について、設備や電気等があるが分離発注しているのか。

＜下水道課長＞

分離発注が基本であるが、競合する場合は一緒に実施する。

＜木曾委員＞

できるだけ、基本は分離発注していただいて、地元の企業がうまくやっていけるようにしていただきたい。

31 ページ、雨水タンクの補助交付金があるが、予定していた分のどのぐらい拠出したのか。

＜下水道課長＞

全体で50件のうち39件である。内訳は、公共下水道の雨水区域内が29件、区域外が10件である。

＜木曾委員＞

各町によって、補助金の割合を決めていると聞いたがどうか。

＜下水道課長＞

特段の根拠はないが、公共下水道の雨水区域内を30件、区域外を20件としている。令和3年度からは、サマーレビューの関係で、公共下水道の雨水区域内を35件、区域外を15件にして、亀岡市の負担が少なくなるように見直した。

＜上下水道部長＞

補足して、都市計画区域内の雨水区域内とそれ以外に分けているのは、区域内は国庫補助金の対象区域であり、区域外は府補助金の対象区域であるので、国庫補助金があたるかどうかで、国の補助金の採択件数によって分けている。

＜木曾委員＞

これは、災害等に関係しており、内水を防止するために、雨水を受けてもらうところをつくっていかなければならないと思う。今後、タンクを増やしていこ

うと考えているのか。

<下水道課長>

雨水タンクについては、今後継続していく計画である。タンクをつけていただいたからには、タンクを空にしておいていただく必要があるので、説明をしつかりして、内水被害を防げるように努力していきたいと考える。

<田中委員>

4・5ページ、支出の決算額より繰越額が多いのはなぜか。

<下水道課長>

業務委託や工事、年谷浄化センターの実施設計などの建設工事があるが、入札が不調になったケースがあったり、コロナのため、部品が滞って、繰り越さなければならないケースもあった。

<田中委員>

繰越が多すぎると感じる。

もう一点、契約について、日本下水道事業団に多く委託されているが、委託料が適正かどうかどのように判断しているのか。また、亀岡市のように処理場を持っている他市でも、多くのことを日本下水道事業団に委託しているのか。

<下水道課長>

適正かどうかの判断は、亀岡市と日本下水道事業団は協定を結んでおり、日本下水道事業団が入札等を行う。最終全て、清算し、設計内容についても、当課で精査しているので問題ないとする。

他市の状況について、処理場関係については、ほとんどが日本下水道事業団に委託しているところが多いと考える。亀岡市では災害の関係においても、日本下水道事業団と協定を締結しているし、他市でも締結しているところが多い。

<木曾委員>

日本下水道事業団が直営で工事するのか。

<下水道課長>

亀岡市と日本下水道事業団との協定に基づき、日本下水道事業団が競争入札をかけて、落札した事業者が発注して、その事業者が工事等を実施していく。日本下水道事業団が会計検査等全て対応することになる。

<木曾委員>

亀岡市と日本下水道事業団との協定の中に、亀岡市の事業者を優先的に使うようなことをうたうことはできるのか。

<下水道課長>

日本下水道事業団も地元の事業者を入札に参加させていくという基本的な姿勢は持っている。また、亀岡市のホームページでも入札に関して広報しており、登録事業者に参加していただけるように周知している。

<木曾委員>

あまり地元の事業者ばかりでは駄目であるが、地元の事業者にやっていただけるような要望を日本下水道事業団に出していただきたい。

11 : 40

[説明]

・総務・経営課長説明

《質疑なし》

11:41

<赤坂委員長>

先ほども言ったが、入札の質問も毎回出ているので、前もって詳細な資料を提出いただくことで、円滑に委員会を進めていきたいのでよろしくお願いします。

<上下水道部長>

この決算書が議案として進めさせていただいているが、口頭説明だけでは分かりにくい部分もあるので、今おっしゃっていただいた資料の様式等を考えて工夫していくのでよろしくお願いします。

[上下水道部退室]

11:43

[休 憩 11:44～13:00]

13:00

◎第11号議案 令和2年度亀岡市一般会計決算認定（産業観光部所管分）
（7款商工費） 再説明

[説明]

・商工観光課主幹資料に基づき説明（「麒麟がくる」推進事業経費について）

13:15

《質疑なし》

[説明]

・商工観光課長資料に基づき説明（商工業振興対策経費について）

13:30

《質疑》

<赤坂委員長>

花火は約800発を300万円で上げられるのか。

<商工観光課長>

花火の数イコール幾らではなく、800発でも1,000発でもそれほど変わらない。花火1発の中に複数の花火が入っていることもある。

〔説明〕

- ・商工観光課長資料に基づき説明（観光推進経費について）

〈質疑〉

＜小川委員＞

当初予算に亀岡フィルムコミッション事業として100万円上がっていたが、決算で10万円だけになっているのはなぜか。

＜商工観光課長＞

当初は亀岡フィルムコミッションの会費と旅費を上げており、いろいろなところへ行かなければならない予定であったが、コロナのため旅費が使えておらず、会費の10万円のための支出であった。

＜小川委員＞

せっかく予算を上げていただいていたので、移動はできなかったと思うが、工夫してもらえればよかったと思う。今後も、ロケ地誘致は大事だと思うがどうか。

＜商工観光課長＞

昨年からフィルムコミッションに登録させていただいて、昨年度は32件の対応をした。そのうち、24本が放送に至った。主にはバラエティー番組で、うち10本だった。この積み重ねが大事であると考えてるので、今後も引き続き誘致して、亀岡の魅力を発信していきたい。撮影にはたくさんの方が動くので、お弁当の手配等をして、亀岡市での消費につなげていきたいと思う。

＜小川委員＞

昨年度はロケ弁がどのくらい出たのか。

＜商工観光課長＞

昨年度の数は分からないが、今年度は約230個である。

＜田中委員＞

資料の5ページ、伝統芸能保存育成事業補助金について、伝統芸能は出雲風流花踊だけなのか。

＜商工観光課長＞

基本的には、歴史文化財課が担当しているが、観光という要素で春の観光資源として、出雲風流花踊を補助している。

＜赤坂委員長＞

亀岡市観光協会の事務所の経費が高すぎると思うが、もっと安くて広いところはないのか。

＜産業観光部長＞

以前は駅中にあったが、移転して現在の場所になった。手狭であるが、駅前ということで便利な立地となっている。今回、移転してはどうかとの御意見をいただいたので、今後亀岡市観光協会と協議していきたいと思う。

＜赤坂委員長＞

あの商店街のにぎわいにつながるように、亀岡市観光協会の事務所を移転して、他の人が商売できるようにしていくべきである。

<産業観光部長>

亀岡市観光協会の思いもあるので、今後協議していく。

<藤本委員>

各観光案内所の賃借料は幾らか。

<商工観光課長>

亀岡市観光協会の事務所は、年間184万8,000円、城下町案内所は、年間72万円、JR亀岡駅観光案内所とトロッコ亀岡駅観光案内所は無料である。

<木曾委員>

決算審査なので、始めから内訳の詳細な資料を出していただきたい。

<商工観光課長>

今後、各事業に係る内容や経費について、分かりやすい資料を作成して報告させていただく。

<木曾委員>

実績だけではなく、残金があれば返還されているかなどの詳細な報告をよろしく願います。

<産業観光部長>

より分かりやすい資料を提出し、分かりやすく説明していく。

14:04

4 討論～分科会採決

《委員間討議なし》

《討論なし》

《採決》

- (1) 第11号議案 令和2年度亀岡市一般会計決算認定（所管分）

賛成全員・認定

- (2) 第16号議案 令和2年度亀岡市土地取得事業特別会計決算認定

賛成全員・認定

- (3) 第18号議案 令和2年度亀岡市水道事業会計決算認定

賛成全員・認定

- (4) 第19号議案 令和2年度亀岡市下水道事業会計決算認定

賛成全員・認定

- (5) 第55号議案 令和2年度亀岡市水道事業会計未処分利益剰余金の
処分について

賛成全員・可決

- (6) 第56号議案 令和2年度亀岡市下水道事業会計未処分利益剰余金の

処分について

賛成全員・可決

14 : 07

《指摘要望事項》

＜小川委員＞

事務事業評価で出た厳しい意見を、指摘要望事項として委員長報告に盛り込んでどうか。

＜赤坂委員長＞

しっかりと盛り込んでいく。次回は9月22日（水）、10時から決算分科会を開催する。

～散会 14 : 14